



株主の皆様へ

第114期 決算のご報告

2022年4月1日～2023年3月31日

株式会社 **サンエー化研**

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

第114期（2022年4月1日～2023年3月31日）における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況並びに今後の取り組みについてご報告させていただきます。



代表取締役社長

さくら だ たけ し
櫻 田 武 志



当期の経済情勢

当連結会計年度におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻を契機として資源エネルギー価格の高止まりの影響を受けた電力価格の上昇や、欧米でのインフレ加速に伴う輸入品価格の上昇が国内物価を押し上げており、依然として厳しい状況にあります。



当社グループの業績概況

当期における当社グループの業績といたしましては、スマートフォン・タブレット等の販売数量の世界的な落ち込みが、液晶パネルの需要を減少させている影響から機能性材料セグメントの受注低迷が長期化しており、売上高が減少いたしました。損益面では、機能性材料セグメントの販売数量減少による固定費負担の増加や原材料費、電力燃料費の上昇に対する価格転嫁が追いついていないことから赤字となりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高278億70百万円（前期比2.8%減）、営業損失4億68百万円（前期は営業利益7億41百万円）、経常損失2億36百万円（前期は経常利益9億73百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失1億98百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益15億15百万円）となりました。



今後の取り組みについて

軽包装材料セグメントにつきましては、電子レンジ対応食品包材の市場において、「レンジD o !」の拡販を継続するとともに飲料用や液体洗剤詰替え用のパウチ、耐内容物包材の拡販に努めてまいります。収益面では、連結子会社である東邦樹脂工業株式会社との連携を継続し、軽包装材料セグメント全体での生産性改善に努めてまいります。また、環境配慮型製品の開発に取り組んでまいります。

産業資材セグメントにつきましては、従来製品に加え、IT分野、自動車関連分野向けの拡販、環境配慮型製品の開発と拡販に努めてまいります。収益面では、本年4月に実施した、連結子会社であるシノムラ化学工業株式会社の営業部門の当社への統合により、コスト削減及び販売面でのシナジー効果をはかりつつ、他方で連結グループ内において、生産体制の最適化に注力し、収益性の改善、セグメント赤字の解消に努めてまいります。

機能性材料セグメントにつきましては、昨年来急速に悪化していた光学業界向けの需要が今後回復する見通しであることを念頭に置いて、テレビ、モニター、スマートフォン向けに加えて、自動車関連部材向けの拡販に注力してまいります。その他、非光学用途の製品開発と拡販の継続、海外拠点、技術提携先、現地代理店網を通じて中国、東アジ

ア市場への拡販にも努めてまいります。なお、当社グループの強みである顧客密着型の開発態勢を充実させ、顧客との協業関係も引き続き強化してまいります。

サステナビリティへの取り組み

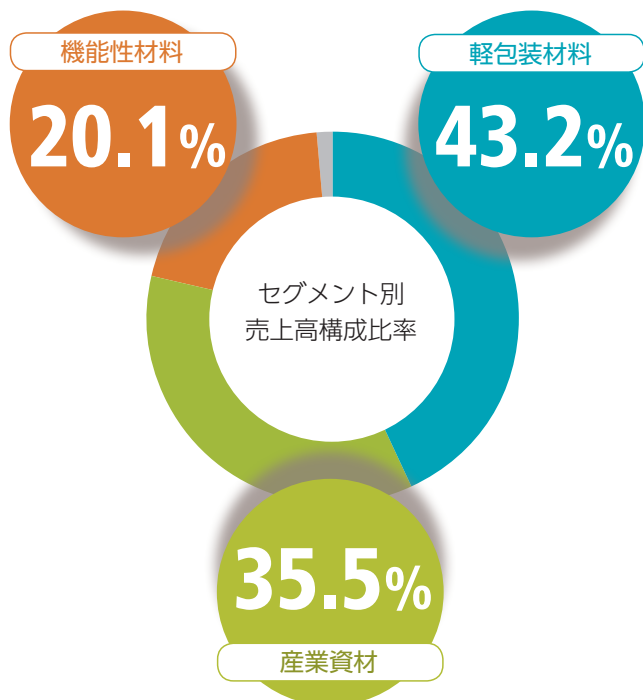
当社グループでは、2022年2月に設置した「サステナビリティ推進委員会」と傘下の事務局において、当社グループ全体での「二酸化炭素排出量（電気・燃料）」の把握や「省エネ活動」のこれまでの実施状況の調査、脱炭素化対策の検討、環境配慮型製品の開発などについて活動してまいりました。今後は、太陽光発電(PPA)やCO₂フリー電力の導入など脱炭素化対策を具体化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

決算ハイライト	
売上高	278億70百万円 (前期比 2.8%減)
営業損失	△4億68百万円 (-)
経常損失	△2億36百万円 (-)
親会社株主に 帰属する当期純損失	△1億98百万円 (-)

セグメント別のご報告



■ セグメント別売上高

売上高	278億70百万円
軽包装材料	120億49百万円
産業資材	99億4百万円
機能性材料	55億88百万円

軽包装材料



事業内容

食品、医薬品、医療器具、日用品、電子部品、精密機器等の包装材料の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

当期の概況

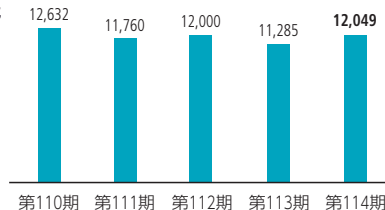
食品用包材は行動制限の緩和に伴い社会経済活動の正常化が進み、娯楽施設や行楽地に人出が戻りはじめたことから清涼飲料用パウチの需要が増加。電子レンジ対応食品包材「レンジD.o!」の受注は前年並みに推移。

日用品等の包材は一部のユーザーが半導体不足の影響で生産調整を行っていることや洗剤用詰替え用パウチの受注数量が減少。

医薬品・医療用包材は前年並みの受注数量及び売上を維持。

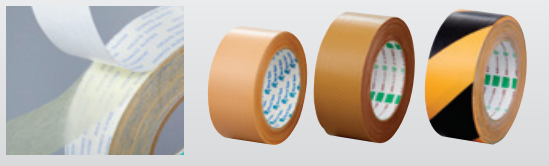
売上高の推移

(単位:百万円)



※第113期より「収益認識に関する会計基準」が適用されております。

産業資材



事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

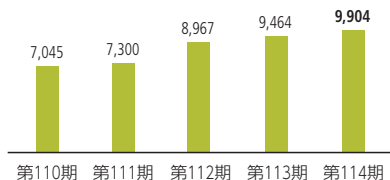
当期の概況

テープ基材等に使用される紙・布へのラミネート製品については、一部テープメーカーの製品統廃合等により当社販売先テープメーカーに受注が流れたことや梱包用粘着テープの需要増により受注が増加。

剥離紙については、半導体不足の影響から自動車関連部材向けの受注が低調に推移したことや建材用途の剥離紙の受注が伸び悩み。

売上高の推移

(単位:百万円)



※第113期より「収益認識に関する会計基準」が適用されております。

機能性材料



事業内容

粘着塗工タイプ、2層押し出しタイプ、精密塗工タイプに分類される各種表面保護フィルムの製造・販売を行っています。フラットパネルディスプレイ向け偏光板や輝度向上フィルム等の光学用途から建材用途に至るまで、様々な部材を加工時・輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

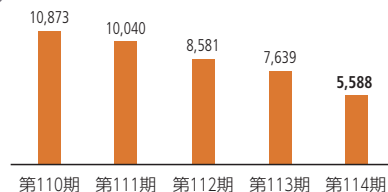
当期の概況

世界的なインフレの影響によるスマートフォン・タブレット等の販売数量の低迷から液晶パネルメーカーは大幅な減産を継続しており、これらの用途の光学用表面保護フィルムの受注が大幅に減少。

建材用をはじめとした光学用途以外の保護フィルムは前年並みの受注量で推移。

売上高の推移

(単位:百万円)



※第113期より「収益認識に関する会計基準」が適用されております。

連結財務諸表

Financial Statements

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 2022年3月31日現在	当期末 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	22,570	22,408
現金及び預金	7,296	6,262
売上債権	10,671	10,883
たな卸資産	4,269	4,987
その他	332	274
固定資産	13,376	13,202
有形固定資産	7,060	6,835
無形固定資産	47	40
投資その他の資産	6,268	6,327
資産合計	35,946	35,611
負債の部		
流動負債	12,085	12,700
仕入債務	7,019	6,920
短期借入金	3,530	3,630
その他	1,536	2,149
固定負債	2,932	2,431
長期借入金	1,364	883
その他	1,567	1,548
負債合計	15,017	15,132
純資産の部		
株主資本	18,307	17,739
資本金	2,176	2,176
資本剰余金	2,238	2,238
利益剰余金	14,008	13,558
自己株式	△116	△232
その他	2,620	2,739
純資産合計	20,928	20,479
負債純資産合計	35,946	35,611

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	28,674	27,870
売上原価	24,769	25,287
売上総利益	3,904	2,582
販売費及び一般管理費	3,162	3,051
営業利益(△は損失)	741	△468
営業外収益	298	267
営業外費用	66	35
経常利益(△は損失)	973	△236
特別利益	615	7
特別損失	12	68
税金等調整前当期純利益(△は損失)	1,576	△297
法人税、住民税及び事業税	51	30
法人税等調整額	△11	△121
非支配株主に帰属する当期純利益(△は損失)	20	△7
親会社株主に帰属する当期純利益(△は損失)	1,515	△198

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

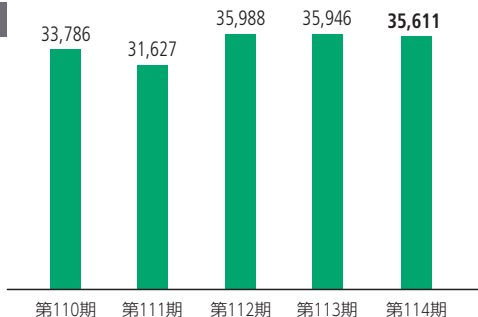
科目	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,237	△467
投資活動によるキャッシュ・フロー	△659	△203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335	△373
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	258	△1,037
現金及び現金同等物の期首残高	6,927	7,185
現金及び現金同等物の期末残高	7,185	6,148

財務ハイライト

Financial Highlights

■ 総資産

(単位:百万円)

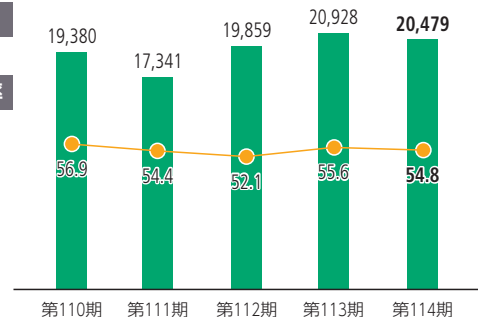


■ 純資産

(単位:百万円)

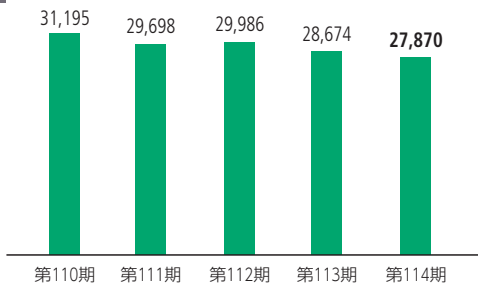
● 自己資本比率

(単位:%)



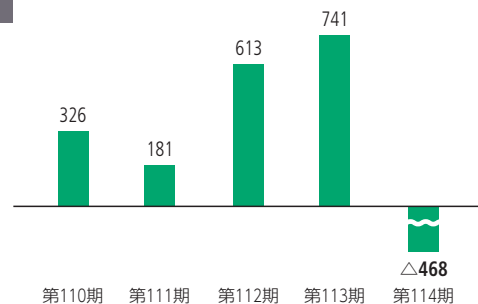
■ 売上高

(単位:百万円)



■ 営業利益

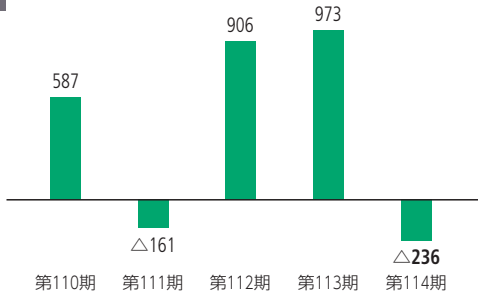
(単位:百万円)



※第113期より「収益認識に関する会計基準」が適用されております。

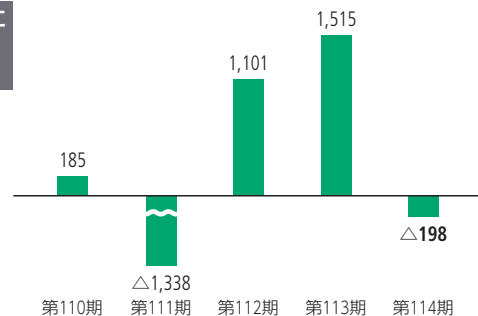
■ 経常利益

(単位:百万円)



■ 親会社株主に 帰属する 当期純利益

(単位:百万円)



市場開拓が進む「環境配慮型製品」のご紹介

当社のフィルムテクノロジーは、産業を支える部材から、皆様の豊かな暮らしをサポートする食品、医療・医薬品、日用品などに使用される包装資材まで、幅広いジャンルでご要望にお応えしています。その中でも、近年は様々な「環境配慮型製品」の開発に注力しています。これまでに培われた高度な技術開発力を礎に、より環境に優しい製品を創出してまいります。

医薬錠剤包装材

バイオマスPTP※1

「Medi Green®」

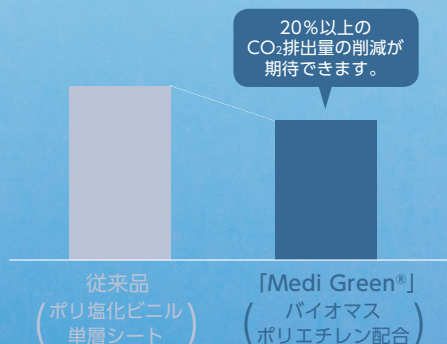
特徴

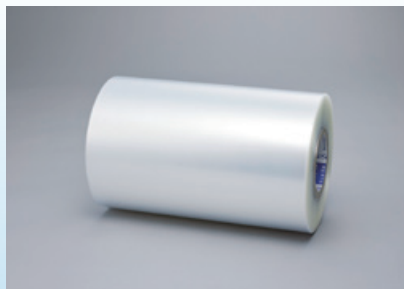
- バイオマス原料配合のPTP用ブリスターシート。
- PTPシートで最も使用されているポリ塩化ビニルをベースに世界で初めてバイオマスポリエチレンを配合。
- ポリ塩化ビニルの単層シートからバイオマスポリエチレン配合品構成への置き換えが可能。

※1 PTP：press through pack。錠剤やカプセルをプラスチックとアルミで挟んだシート状のもの。



従来品とのCO₂排出量比較





特徴

- 粘着剤を使用していないため、糊残りが発生しにくい。
- 汚染性及び環境面に配慮し、製造工程で有機溶剤を不使用。
- ニーズに合わせて厚み・粘着力変更も可能。

環境配慮型保護フィルム

バイオマスPAC^{※2}

※2 PAC：共押し製法による自己粘着タイプの保護フィルム

zoom in

当社の製品と事業活動をより多くの方々
に知っていただくため、今年度も様々な
展示会やイベントに参加しました。

「インターフェックス ジャパン －[医薬品][化粧品] 製造展」に出展

2022年7月13日から7月15日まで、東京ビッグサイトにて開催された第24回「インターフェックス ジャパン－[医薬品][化粧品] 製造展」に双日プラネット株式会社様と共同で出展しました。



「TOKYO PACK 2022 (2022東京国際包装展)」に出展

2022年10月12日から14日まで、東京ビッグサイトにて、「TOKYO PACK 2022 (2022東京国際包装展)」が開催され、『エア－緩衝材』、『サンシール』、『レンジD o!』他を展示しました。



■ 配当金について

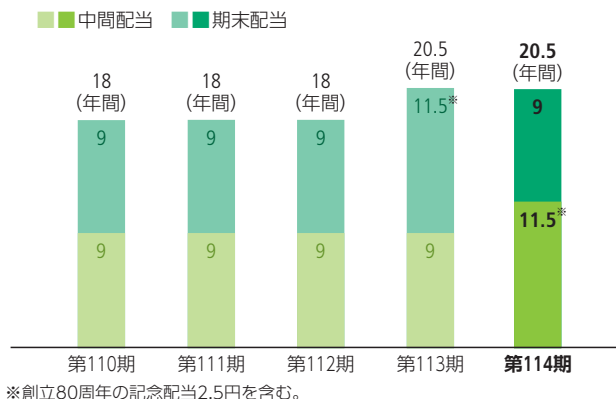
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、将来の事業展開と企業体質の強化に備えて必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

この方針の下、第114期（2023年3月期）の期末配当金につきましては、1株当たり9円とすることといたしました。

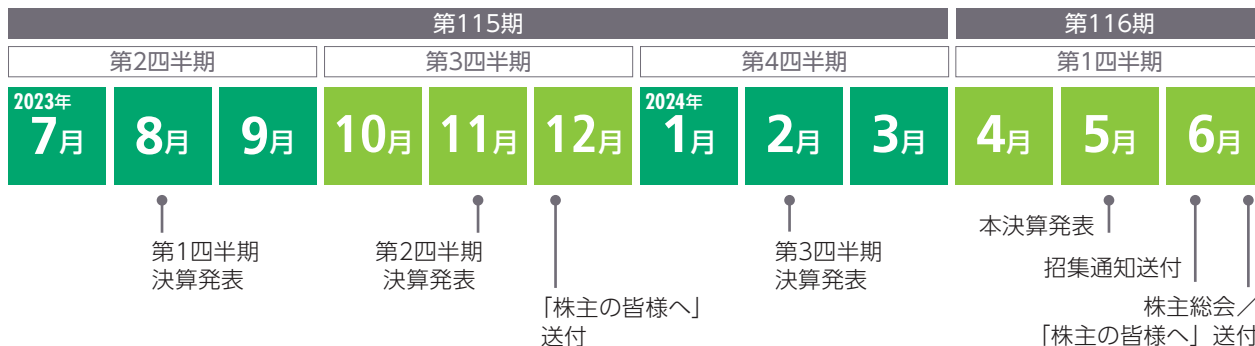
これにより、第114期の年間配当金は、中間配当金11円50銭と合わせて、1株当たり20円50銭となりました。

■ 1株当たり配当金

(単位:円)



■ IR カレンダー



株式の状況・会社概要

2023年3月31日現在

Stock Information & Corporate Data

株式の状況

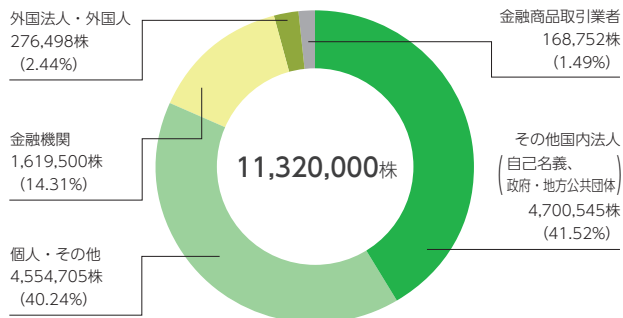
発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	11,320,000株
株主数	2,875名

大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.90
昭和パックス株式会社	1,244,200	11.60
サンエー化研社員持株会	421,000	3.92
株式会社三菱UFJ銀行	310,000	2.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和パックス株式会社口)	300,000	2.79
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和パックス株式会社口)	300,000	2.79
株式会社みずほ銀行	200,000	1.86
山田美千代	121,000	1.12
鈴木靖子	117,000	1.09
岡本知久	110,000	1.02

- 当社は、自己株式を599,445株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
- 持株比率は自己株式(599,445株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



会社概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事業所	関西支店、名古屋営業所、台北営業所、 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場WEST、 奈良工場 R&Dセンター
設立	1942年9月
資本金	21億76百万円
従業員数	494名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

連結子会社

- 東邦樹脂工業株式会社 本社・工場／栃木県下都賀郡野木町野木148
- シノムラ化学工業株式会社 本社・工場／静岡県袋井市国本291
- 灿櫻(上海)商貿有限公司 中国上海市長寧区虹橋路

役員

代表取締役社長	山本明広	社外取締役	藤澤廣一
常務取締役	櫻田武志	社外取締役	野口隆一
取締役	芝彦尚	常勤監査役	佐藤誠一
取締役	山本元	社外監査役	井上眞樹夫
		社外監査役	湯口毅

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
ご連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東証スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行います 公告掲載URL https://www.sun-a-kaken.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

株式事務に関するお問い合わせ

- 住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。
証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、上記の特別口座の口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
- 払渡期間経過後のお取り扱い
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

ホームページのご案内

当社の詳細なIR情報は、ホームページをご覧ください。

当社ホームページの〈IR情報〉では、詳細な情報を掲載しております。

また新製品情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、展示会情報等についてもご覧いただけます。



URL ▶ <https://www.sun-a-kaken.co.jp>

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **4234**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォン

右のQRコードをカメラで読み取れば、スマートフォンからもアクセスできます。

※QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com